

日々の学習をキャリア教育の視点から



「キャリア教育」とは実際どのようなものなのでしょうか？

小学部で行われている校外学習での買い物を例に取ってみます。

事前学習では、教師と一緒に行き先や店舗での仕事などについて調べます。これは、職業理解や情報収集・探索能力の向上につながります。

店舗では、買い物の一連の流れ、商品が陳列されている場所、店員さんへの質問の仕方、マナーなど、実態に応じて様々なことを学習します。教師はどこにどんな商品があるのか説明し、児童は商品に触ってみます。これらは、将来の自立した生活や社会性の向上、コミュニケーション能力の向上につながっていきます。また、買い物中に、店員さんがどこでどのような仕事をしているのかを説明することもあります。職業を知り、職業理解や職業選択につなげるためです。

児童は買い物を通して様々なことを学んでいます。しかし、見えない、見えにくい幼児児童生徒は一つの事を習得するために、たくさんの時間や経験等が必要になります。回数や場所の限られた学校での校外学習だけでなく、御家庭でお出かけの際にもお子さんの興味や疑問に寄り添っていただくと、より確かな力が身についていくと思います。そして、こうした日々の経験が、将来の自立や職業への興味・意欲などにつながっていきます。